

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ「保育所等訪問支援」		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 12人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12件	(回答者数) 9件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・セラピスト(理学療法士)と連携して、訪問支援に介入し多面的に支援を提供できる。	・本人の行動の意味を予測したり、見立てたりして本人に適した対応ができるよう工夫している。	・いろいろな視点で本人の課題を抽出し、手立てや対応について相談しながら支援できる。
2	・訪問支援の報告書を通して、地域と連携し同じ気持ちで本人に寄り添える支援が出来る。	・集団生活で適応できるため、また本人によりよい支援ができるよう本人の伸びや課題などを家族や地域の関係者と共通した情報を共有する。	・必要性や緊急性に応じて、保護者面談やケース会議等を実施し、本人のことについて方向性を合わせて情報共有する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援にニーズに合わせた訪問支援員が十分に配置されていない。	・専門的な人材の確保が難しい。	・訪問支援に携わるための専門的な知識の獲得に向けた取り組み。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターすまいるキッズ（保育所等訪問支援）			公表日	令和8年2月27日
環境・整備・運営	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
		2	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・並行利用されている事業所との視覚的なツールの活用の共有や学校の学習教材（主に算数）と同様の物を準備活用している。
業務改善	3	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・1名の訪問支援員を専属している現状がある。業務を分担できるよう専門的に幅広く携われる人材育成していく必要がある。	・業務を分担できるよう、また将来的にも専門的に幅広く携われる人材育成が課題。
	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			・支援のより充実化に向けて、業務内容の見直しや改善を図ることが課題。
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保育所等訪問支援の評価制度による保護者側の意見を得ることでよりよい支援に活かすことができます。	
	6	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	・課題や疑問があればその都度確認し合いながら改善に努めています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	○		・保育所等訪問支援に関する評価制度により、訪問先のご意見や要望を得ることができ、よりよい支援や改善に努めることが出来ます。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・島内にて保育所等訪問支援に特化した研修に触れる機会が少ないため、センター連絡会等を通して他事業所の状況などの情報収集に努めている。	
	9	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・保護者の方のニーズとアセスメントや相談専門員との計画作成のすり合わせを行いながら目標を設定しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	・子どもの状況や目標を踏まえて、その子どもに関わる支援者と案を見直しを行いながら支援計画を作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	・個々に必要なスキルやどのように成長してほしいか等、同じ視点で支援ができるよう意向のすり合わせをさせて頂いています。	・専門的な視点からの助言を得て、支援の目標や手立てに繋げていくためにセラピストの介入を継続していきたいです。
	12	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	・回覧やミーティングで周知できています。 ・前期と後期の2回に児童情報会議を実施し現状把握と支援の共有化を目指しています。	・支援計画を意識しながら支援を継続できるよう定期的に振り返る時間を確保していきます。
	13	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		
	14	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・必要な場面に活用できているが、定期的な見直しや振り返りが十分にできていない状況です。
	15	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	・回覧やミーティングの中で必要な情報を共有できるように努めています。 ・事業所間でも、必要に応じてケース会議や連絡共有を行っています。	・支援計画を意識しながら支援を継続できるよう、定期的に振り返る十分な時間を確保する必要があります。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	・療育現場での様子を聞き取り、訪問先での様子と比較しながら支援に繋がっています。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・訪問支援後の報告書を通して、支援の内容を周知し、ミーティングの中で必要な情報を共有を行い療育支援に活かしています。	
18	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。		○	・訪問先での取り組みを踏まえた上で、よりよい支援を一緒に探していけるよう努めています。		
19	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・訪問終了後は、内容について報告書を作成し、訪問先や家庭と情報の共通理解に繋がっています。 ・児童が並行利用している場合、事業所間の連携として報告書を共有しています。	・地域や集団生活の様子と個別療育など小集団の様子を比較、分析が思うようにできずに十分に検証できていないのが現状であり課題になります。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童の現状や課題などを共通理解するために訪問担当者や児童発達管理責任者などが会議に参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・各市町の保健師との連携を目的として、地域連絡会を年に3回実施し各地域の現状や課題などについて相互理解を図っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の方の同意により、移行支援シートを移行先へ繋ぎ、必要に応じて連絡会を開催しています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・専門職(PT)による研修会を実施したり、身体面や機能面について相談しながら支援に繋げるなど必要に応じて連携を図っています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・子ども部会に所属し、親の会の立場からの意見や要望がすいあげられ課題解決に向けて検討してもらいます。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・電話連絡や報告書を通して、支援の内容やお子さまの成長などについて報告しています。	・お子さまの情報共有やより詳細を伝えるための機会が少ないため、改善を図ってまいります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・事業所内部において、ペアレントプログラムや研修会が実施できていない状況があり、ニーズにお応えできるよう実施に向けて準備態勢を整えていくことが課題です。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用を開始するにあたって、契約時あるいは契約更新時に運営上の規定や負担金に変更が生じた場合に内容や詳細について説明しています。	・負担金に加えて、支援会議や個別相談などのサービスを利用できること、伴って負担金に加算がつくことについて周知を深めてまいります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・新年度の訪問開始時、または年度途中の新規契約時に訪問支援についてあらかじめ園や学校へ挨拶訪問に伺い説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・個々に応じた支援内容や目標を説明し、同意を得たうえでサインを頂いています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・随時相談を受け、気持ちに寄り添いながら必要な助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・親子遠足やクリスマス会などのイベントを通じて、保護者並びに兄弟児の方へ参加を呼びかけ楽しい時間を提供できるよう工夫しています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・随時相談を受け、気持ちに寄り添いながら必要な助言を行っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・必要なお知らせについては、随時案内を配布していますが通信での発信は出来ていません。	・情報発信や連絡ツールとして、今後ICTシステムを導入する方向で準備をしていきます。
訪問先施設へ	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・広告写真やホームページの掲載など個人情報の取り扱いについて、新規契約時に詳細を説明し同意書にサインを頂いています。	・職員間で個人の情報を共有する場合は、守秘義務や情報の取り扱いについて随時確認してまいります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者との連絡ツールとしては、電話連絡や連絡ノートを活用しています。 ・視覚的なイラストや手振り等をとって、伝わるような工夫をしています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・必要に応じて多職種からの助言を得ながら、専門的な手立てについて参考までに有効な支援として繋げています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問支援実施後に時間を頂けるかどうかをお伺いし、相互の様子など情報を共有しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・集団生活の様子報告として、訪問支援後に報告書を提出するようにしています。	・報告内容や様式を改善し、提出が遅れないよう検討してまいります。

の 説 明 等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・訪問先で知り得た情報について、十分に配慮し資料や写真の掲載などについて必要に応じて同意を得ています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・新年度の訪問開始時、または年度途中の新規契約時に訪問支援についてあらかじめ園や学校へ挨拶訪問に伺い説明と了承を得たうえで訪問介入しています。	
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・緊急時や事故対応マニュアル等については、契約時の説明を行い、施設内において図式化して掲載しているが精通できているか定期的に周知していくことが課題です。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・自然災害に対する避難訓練を毎月実施し、消防署員や地域の分団員の立ち合いを導入し安全管理について助言を得ています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・怪我や事故発生時には、報告書を作成しその都度スタッフと情報共有と改善解決策までを検討し、再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人内に設置されている委員会において、虐待防止のための対策や人権擁護に関する研修会が定期的に開催されています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束が必要な場合に詳しい内容について新規契約時に説明し、同意書にサインを頂きます。	・拘束が必要な場合その詳細について記録することになってるが現在対象者となる利用児童がいないのが現状です。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターすまいるキッズ (保育所等訪問支援)

公表日 令和 8年 2月 27日

世帯数 24件

回収数 12件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				○		・地域の園や学校等で活用されているツールやアイテム等（主に算数教材）を参考に同様の教材を用意し療育活動に取り入れています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○					・個別に面談できるよう相談室を使用しています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○					・新規契約時や保護者説明会において事業の概要等についてご説明させて頂いています。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○					・訪問の頻度や日程については、園や学校側の行事やご都合により保護者の方のニーズに応じることが難しい場合もあります。見てほしい場面についてはご希望を確認するようにしています。
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	○					・訪問支援員1名体制で、訪問支援を提供しているのが現状です。（必要に応じて専門職員の同行を実施しています）
適切 な 支 援 の 提 供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	○					・現場支援の経験を活かして、専門的な支援や助言ができるよう日々努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	○					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	○					・訪問先の担当者より、児童の現状や課題等の情報を得ながら支援や計画作成の参考にさせて頂いています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。				○		・個々に応じて必要な目標を作成し、5領域に沿った支援を意識しています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。				○		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	○					・コーディネーターや教頭を通じて、又各担任に伺いを立てながら訪問支援の日程を相談しています。
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				○		・事業所内において、ペアレントプログラムや研修会が実施できていない状況があり、ニーズにお応えできるよう実施に向けて体制を整えていきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	○					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		○				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。		○				・児童及び保護者の方の気持ちに寄り添い、職員一同丁寧な気持ちで支援や対応に努めています。

護者への説明等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている		○			・次年度は、進学に向けて今後の方向性について学校との支援会議を実施して頂きたい。	・保護者のニーズに応えながら対応できるよう努めています。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		○				・訪問した際には、児童の様子について報告書を通してお伝えしています。その他の必要な連絡等については、送迎時や電話連絡を行っています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。				○		・訪問先からの相談があった場合は、その場で回答したり、内容によっては一旦持ち帰り適切な助言が対応できるよう努めています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。		○				・訪問に伺った際になかなかお時間をとることが難しい状況があります。必要な時にご相談したり、ケース会議を実施し共通理解に努めています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○				・紙面のみでの報告ではなく、面談の必要性を感じる。	・訪問のご報告やお子さまの情報について共有できる面談を実施出来ない状況があります。必要な情報を共有認識できるよう改善を図っています。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				○	・HP、SNS等について知りませんでした。	・HPやSNS等の定期的な発信は出来ていません。 ・自己評価の結果報告については、掲載に合わせてご案内を差し上げています。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					・職員間で個人の情報を共有する場合は、守秘義務や情報の取り扱いについて随時確認しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。				○		・訪問先との緊急時の対応については連携できていません。連携の仕方についてか相互の理解と検討していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		○				・自然災害に対する避難訓練を毎月実施しています。 ・令和6年度より地域の分団員の立ち合いを導入し安全管理について助言を得ています。（報告案内文発行） ・周知方法として、緊急時や感染対策、アレルギー対応等のマニュアル等その他の安全計画について保護者説明会時のご説明及び資料添付を
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。		○				
	28	事業所の支援に満足していますか。	○				・小さい頃より利用し、長年の支援に対して満足しています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和8年2月27日	
児童発達支援センターすまいるキッズ(保育所等訪問支援)		件数			12件 / 9件回収	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○			・資料にまとめて助言頂けるのでありがたいです。 ・専門的見識により、的確なアドバイスで個々の 困り感に寄り添えるようになった。	・報告書の中にイラストや解説などの情報をより 分かりやすく提示し、訪問先やご家庭との共 通したツールになるよう心がけています。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していま すか。	○			・教育現場に役立つアドバイスを下さいます。	・対象児に対して有効と思われるような対応や 成功例等についてご参考にして頂けるようなご 提案をさせて頂いています。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれ ていますか。	○			・児童の困り感、教師の悩みに答えて下さる。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが 解消または軽減されましたか。		○		・今後も支援計画やカリキュラム等を共有したい。 ・初めて支援担当する私に寄り添って頂けた。 ・自己肯定感を得られる保育を目指せるようになっ ている。		
5 事業所からの支援に満足していますか。	○			・学校の様子を踏まえ、家庭へよりよい支援の在り 方について助言頂ける点は今後も継続頂きたい。 ・児童の様子を共有でき、満足しています。 ・保育士へのねぎらいの言葉を頂くことで、意欲的 な保育に繋がる。		
其他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解する時間がなかなか無いので、時間が取れたらいいなと思います。 ・児童が療育の場でどのような活動をされているか参観したい。 ・報告書を早めに頂けるとうれしいです。 ・子どもたちが主体的に自立し社会参加していく為、多様な環境において個々に 必要な力を習得することが大事だと考え、今後も連携を大切にしたい。 ・子ども達のことを一緒に見守って行きたい。 ・今後も学校と手を取り合って子どもたちに出来ることを一緒に支援したい。 ・今後の連携、連絡等よろしくをお願いします。 ・一人一人の子ども達にの健やかな育ちを一緒に応援していきたい。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ご多忙な中で訪問先の先生方にお時間をさいて頂きお声を掛けし、随時必要な時に必要な情報を 得ながら、よりよい支援に繋がっています。 ・年に1度療育を公開する行事を実施し、各園や学校など関係機関の方々をご案内しています。限ら ずに随時、見学等を承りオープンな療育を目指しています。 ・報告書の中で対象児の特性や現状がより具体的にお伝えできるよう、作成に時間を費やしてしまう 状況があり、迅速な対応を目指し報告内容や書式の改善に向けて検討して行きます。 		